

## 第6回熱海市伊豆山復興計画検討委員会

## 意見内容と対応方針案

日時：令和4年7月22日(金) 15:00~16:45

場所：熱海市役所第3庁舎2階 第1~3会議室

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
議題1 復興まちづくり計画(案)について				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模型のイメージは復興まちづくり計画のどこに当たるのか。</li> </ul> <b>【議事録P8】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模型と復興まちづくりのイメージの関係について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終的なまちづくり計画の冊子版で、将来進めていくまちづくりのイメージを鳥瞰図等で示していこうかと考えているが、今日の時点では、まだ表せる段階ではないので今日はこちらの模型での説明とさせていただきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復興まちづくり計画では、将来イメージを鳥瞰図等で示すこととする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路はどのようなふうに行けるのか。</li> <li>・ ある程度道路を拡幅してくれれば、新しい道路はいらないと思う。道路が出来ない限りは、建物はできない。そのところを市の方で、土地を提供してもらえないところもあるかと思うが、念入りに調べて枝道を作ってもらえれば、伊豆山のつながりも生まれると思う。今ではなく50年、100年の道の事を考えて計画してもらいたい。</li> </ul> <b>【議事録P8, 9】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模型と復興まちづくりの道路計画について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、道路計画に関しては、静岡県が行う逢初川の改良計画と同時に、伊豆山神社線から、開渠部分のあたりまでは設計が完了し、これまでの説明会で県や市の方から示させていた。この区間に関して、市の計画としては、逢初川の改良した川の両側に新しい道路を整備する。開渠部分から下流の部分に関しては静岡県の方で、JRとの協議も行いながら設計中と聞いている。伊豆山神社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路計画は県の河川改修計画等と調整しながら設計を行っている。引き続き、計画の決定やお知らせできる情報が共有され次第でお知らせすることとする。</li> </ul>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
			<p>線から上流部分に関しては、現在のヒアリング等を基に必要があれば道路計画等も検討していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の市道も含めて、狭隘な部分に関しては、今後更に細かい調査をして検討したいと思っている。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料3「復興まちづくり計画の骨子と要点」の11ページの右半分にこれまでに整理した具体化の視点を踏まえ、伊豆山地区の目指す将来像を示した文章があるが、公園とか緑地を作ることと、小学校とか地域包括センターの地区内で生活環境を高めるとか、住民の定住の促進のために取り組むなど入っているが、今までのヒアリングを整理して具体化した内容になるのか。</li> </ul> <p>【議事録P10】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興まちづくり計画の将来像について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こちらの模式図も、模型で説明したイメージも、これまでも含めた今後の個別面談でのヒアリング内容だったり、来週の第3回までのワークショップでのご意見等を取りまとめ、次回8月の検討委員会でお示しするというご承知いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談でのご意見やワークショップでのご意見を踏まえて、さらに修正を加えていくものとする。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップは基本的に復興まちづくり計画の策定に対し、幅広い意見をみんなから聞いて、よりよい暮らしと生活再建を実現することが目的として始まった。だから、ワークショップイコールまちづくり計画と思っている。2回目のかわら版にも公園や伊豆山小学校の話はあまり出てきていない。バス停、避難所、生活道路、生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップの結果の復興まちづくり計画への反映方法について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップでのご意見を、まちづくり計画に落とし込みたいと考えている。ワークショップは、第1回はオリエンテーションの内容、第2回目では自由に意見を出してもらっている状態で、ワークショップとしてのまとめという段階まで至</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回ワークショップで取りまとめた各テーマのご意見を計画に反映させることとする。</li> <li>そのうえで、実現可能性を庁内で検討し、復興まちづくり計画で実現可能なも</li> </ul>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>活再建の話だとかそういう話は、多くここに出ているが、それが将来像を目指すと言った文章の中に入ってこないのは、この落とし込み方が具体的にないのではと感じている。ワークショップの内容を反映させる過程があれば教えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画は3つの柱があるが、ワークショップは8つのテーマで話し合っていて、数が違うので、どう落とし込んでいくのかというのが難しく、もし基本計画に沿って3つの柱として落とし込んでいくのであれば、この8つのテーマを3つの柱に落とし込んでいかないと、絶対漏れがでてきて分らなくなると思う。</li> <li>・何がいいのか、何が悪いのか、どれが採用で、どれが不採用なのか、その条件もなければ線引きもないのかなと思っている。それを誰が線引くのかと、その反映させる過程で、反映する、しないというのは、一体どこの場で決まっていくのか、そういうことを知りたい。</li> </ul> <p>【議事録 P11, 12】</p>		<p>っていないので、ワークショップの内容の計画への落とし込みに関しては、次回の第3回目で、皆さんから出していただいたご意見をグループで取りまとめたものを、もちろん、すべてが反映できるわけではないが、意見を取り込みながら計画の方に反映して行きたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画は3つ方針があり、ワークショップでは8つテーマがあるが、ワークショップで取り上げているテーマというのは、参加された方たちに、どのようなテーマで話し合いをしたいかということ聞き、進行側からテーマを設定したということではなく、自主的に話し合いたいテーマを選んでいただいた。確かに、基本計画を基にしているまちづくり計画に反映させていく作業が必要となってくると思うが、まずは第3回ワークショップで、まとめられたものを、計画に盛り込む作業をしていくことになる。</li> </ul>	<p>の、あるいは関連計画等で対応していくものに分類し、今後のまちづくりの参考にしていく。</p>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画の最終ページに、追加修正や計画の見直しの文言もある。基本計画は決定したが、それで全てが決定ではなくて、良くないもの見直しするものは、どんどん見直しするし追加して修正していくというような文言が最後に入っている。それは凄く大事なことだと思っていて、このまちづくり計画も、すべてがうまくいくとは限らない。きっと失敗することもあるかと思う。それは、やっぱり修正していくことだと思う。次回最終であれば、その後の見直しだとか、意見できる場をつくるようにしていただきたい。 【議事録P12, 13】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興まちづくりの進捗管理について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDC Aを回して、修正・確認をしながら、進めていくことだと思っている。今後まちづくり計画が策定された後に見直しをかけていくタイミングが、また出てくると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興まちづくり計画は今後の復興事業の進捗等、見直しが必要となった場合に都度改訂をしていくこととして、第5章に計画の進捗管理の項目を、復興基本計画を踏襲する形で設けている。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月の説明会は、どんな形で、どういう様な規模でやるのか。保護者の方たちが期待している。紙よりも図や模型を見ながらお話していただいた方が、初めてこういうものを見る方にとっては、とても分かりやすいと思う。保護者の方、それから地域の方が気にすることは我が家はいつから、一体何ができるのか知りたいと言っていた。そのあたりを詳しく住民の方に説明をするときには、丁寧にやっていただきたい。</li> <li>避難している人たちの住宅の補助が2年ということになっている。それが、来年の7月までだが、この時点で帰れない状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月実施の説明会について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月7～9日で3回に分けて、同じ説明会をやる予定で詳細を詰めている。内容として、警戒区域解除の考え方やスケジュールを示すのを考えている。それから生活再建支援について、市の方針や考え方を示したいというふうに考えている。</li> <li>警戒区域解除についての考え方やスケジュールを示すためには、源頭部の土砂の撤去のスケジュール、また新設堰堤工事のスケジュールの見通しが分からな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>況であったりすると、補助の延長ができるのかどうか、それを説明できるようになっているのか。</p> <p>【議事録P13】</p>		<p>いと、なかなか話が前に進まない。それが、仮に予定通りに行った場合の警戒区域の解除について、市長から現時点での考え方を説明する。警戒区域が解除されても、必ずしも警戒区域内の方が一斉にご自宅に帰れるわけではないと考えている。警戒区域の解除は部分的解除ではなくて、全解除を想定しているので逢初川の河川改修工事、道路、まちづくりの計画の基盤の整備、これらの進捗状況によって、帰っていただけるエリアというのが、段階的になるのではないかと考えている。その辺の予定についても、河川改修については静岡県、道路とまちづくり計画については、熱海市がご説明したいと考えている。</p> <p>・生活再建支援策については、国と県、また熱海市とで詳細を詰めております。</p>	
7	<p>・資料4「熱海市復興まちづくり計画（案）」は直接の説明はないが、次回の委員会で資料4を含めて、どういう議論をしてチ</p>	<p>・復興まちづくり計画本編の内容説明</p>	<p>・資料4につきまして、当日配布の資料として、お配りしている。この部分につきまして</p>	<p>・次回の検討委員会では、資料4（熱海市復興まちづくり計画</p>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>チェックをして、どうまとめていくのか方針として決めておかれた方がいいと思う。</p> <p>【議事録 P15】</p>	<p>について</p>	<p>は、次回の委員会までに、私ども、事務局の方で委員の皆さまにお伺いし、その中での不明な点、ご要望、ご意見、ご指摘とかをお伺いすることができればというふうに考えている。</p>	<p>書)について、説明・議論を行うこととする。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料3の12ページに、逢初川流域の管理方針があるが、盛土の規制、強化に関しての内容が中心になっている。これはこれで必要不可欠なことではあるが、逢初川流域が管理している場所とこれ以外にも、森林法の関係や、自然保護の関係、宅地工作物、景観関係とか、大規模の地域を適切に安全に管理していく為の視点というものがある。そこを含めた管理方針を記述しておくべきかと思う。</li> <li>・ 今回災害にあったことを踏まえて、法制度の関係を、状況を踏まえて今後こういうふうに適用していくか、或いは、それに関して運用していくかをベースに、図面的な表現も必要と思っている。12ページの右側に実施方針は10行ぐらいの文言しかないが、ここの部分が一番重要で、資料4の第4章が復興まちづくりの実施方針で、8つの項目立てがされている。この中身がまちづくり計画の一番肝になるところ。それぞれの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 逢初川流域の管理方針と復興まちづくりの関係について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法規制等に関しては、森林法、宅地工作物、景観等について、今、記載があるが、これ以上の補強をしていきたいと考えている。</li> <li>・ 法制度の適用や運用については、図面によるわかりやすい表現をしていくといったことも、次の資料までに工夫をしていくというふうに考えている。</li> <li>・ 最後にまちづくり実施方針についても、8つの方針について、追々ご指摘等いただければ私共の方で説明させていただきたいと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現況整理を含めた掲載する図面について、指摘事項を反映し修正を行う。</li> <li>・ 併せて、復興まちづくり計画と関連性の高い法制度については説明文章を追記・修正していく。</li> </ul>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>委員の貴重な意見を申し上げてほしいと思う。</p> <p>【議事録P15, 16】</p>			
9	<p>・大前提は安全・安心これに尽きる。安全・安心はそこに住まわれている方が安全・安心と思うことが最も基本的なことで、その一つとしては災害自体はいつ、どういう形で別の災害が起きるとも限らない。そういう場合の情報伝達だと思う。行政無線など一般的な方策では、この前の土石流では役に立たなかった。情報伝達の各世帯、各家への直通、この方法を何とか考えていただきたい。それを実施できるようにしていただきたい。</p> <p>【議事録P17】</p>	<p>・災害時における情報伝達の方法について</p>	<p>・情報伝達についてはこの機会に見直しながら、特に被災地域の情報伝達として同報無線等々については設置していきたいと考えている。</p>	<p>・災害時における情報伝達方法については、継続して検討し、今後の取り組みが決まり次第改めてご報告させていただきます。</p>
10	<p>・7月3日に発災して、その後5日に所在(行方)不明者の名簿が公表された。これは大英断だと思っているが、どうしてこの人の名前が入るのかという方が大勢いた。なぜかと言うと、地番が全く同じとなっている。このような状況ではいざと言う時に住民基本台帳、その地番、住居表示で確認するということができない。これを何とかしていただきたい。</p> <p>【議事録P17】</p>	<p>・地番・住居表示の見直しについて</p>	<p>・地番表記について、熱海市熱海という地番が非常に広いため、過去見直しをした経緯があり、新しい所在名を付けて地番表記にした。この点についても伊豆山は確かにそうで、西山の上の方にも伊豆山(の住居表示の地域)があり、かなり幅広くなっており、尚且つ二重番地を持っているところもあるので、内部で検討を進めたい。</p>	<p>・内部での検討を進め、検討経過を報告できる状況になり次第で改めて報告する。</p>
11	<p>・東北の津波でも全部流れて、全く違うところに新しいものを</p>	<p>・復興まちづくりの</p>	<p>・道路の図面に関しましては、資料を次回まで</p>	<p>・現況整理を含めた掲載する図面</p>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>作っていることもあり、同じところにつくるといふ部分もあるし、まとめて壊れた所は新しく道路をつくるパターンもある。今あるところの道路だけではないとお考えいただければよいかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのうえで現況の道路がどうなっているかが重要である。</li> <li>・ 復興まちづくりをする時に、現況整理はもっと正確にわかっていなければいけない。岸谷本線とかいろいろある中で市道ではないのか。二項道路を示すところにも重要な情報間違いがあると思うので再確認してほしい。</li> <li>・ 現況以外にないとすると、新設される道路はこれだけなのか。もし、決まっていなくてもこれと関連することはその旨を書かないといけない。</li> <li>・ 直接被害を受けた所の、宅地や住宅に対することが取りまとめられているが、周りでバイクしか入れない道があるという話がある。この地区の場合、生活道路を拡幅していくというのは将来のまちづくりの重要なポイントだと思っている。道路に関しては正確な情報は整理されていくとよいと思う。将来にあたって基本的な市街地としての環境を整えるのは重要なこと。</li> </ul> <p>【議事録 P 18, 19】</p>	<p>道路計画の考え方について</p>	<p>に修正する。</p>	<p>について、指摘事項を反映し修正を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路(接道)と建築物の関係も併せて現況を把握していくこととする。</li> </ul>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
<b>2 その他</b>				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップの意見で各町内会長に来てもらいたいと書いてあるが、市の方から町内会長へ伝えたか。</li> <li>このワークショップでやった大事な話が各町内会の方へ伝わっていないという現状がある。反映させる過程がない。これを作らないといけないと思う。</li> </ul> <p>【議事録P20】</p>	各町内会のワークショップの関わり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会長の皆さま方、町内会に限らず地域の担い手たるグループもこれをきっかけにいろんなボランティアの方も出てきているので、そういう方の意見交換・情報の共有の場で工夫していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆山地区7町内会にかかわら版を回覧することで情報共有を図る。</li> <li>第3回ワークショップから町内会の役員の方に参加者として出席していただいている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会長だけではなくて、地域の自主防災組織の担当の役員の方とかでも災害があった時の情報共有の話が問題になる。自治体のつくる避難計画に自主防とも関連して連携するのも大事とも思う。</li> <li>自主防災組織は今回の災害、7月3日は、(道路の寸断等もあり、)ほとんど機能していない。実際に今、岸谷地区で避難する時、防災の無線が聞こえないから、市が設置し、付けたが聞こえないため、もう少し配慮してほしいとか、何点かそういう話が出ている。1回設置したから、完了ということではなくて、臨機応変に実情に合わせて対応をお願いしたい。</li> </ul> <p>【議事録P21】</p>	自主防災組織と庁内の防災体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談を受け、現在、検討を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織との連携については継続的に検討していく項目とする。</li> <li>防災無線の聞こえづらさ解消等、既に要望を頂いている項目については、現在、検討を進めている。</li> </ul>

以上